

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県金沢市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	D透訓	救 臨 感 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
454,416	22,233	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

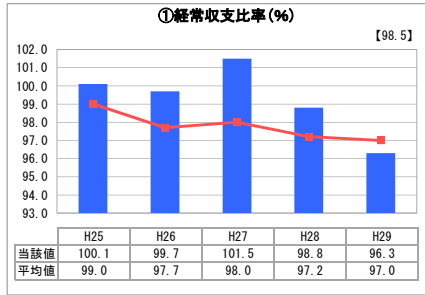
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
280	-	25
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	311
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
280	-	280

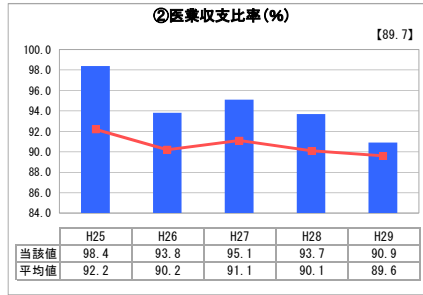
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

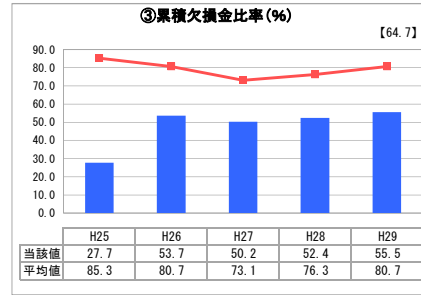
1. 経営の健全性・効率性



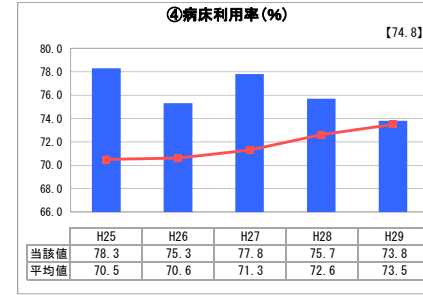
「経常損益」



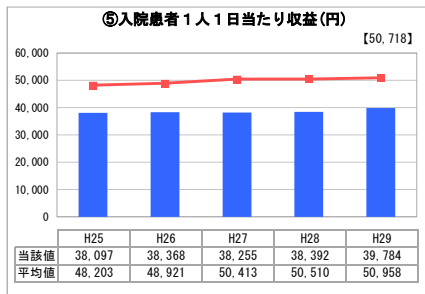
「医業損益」



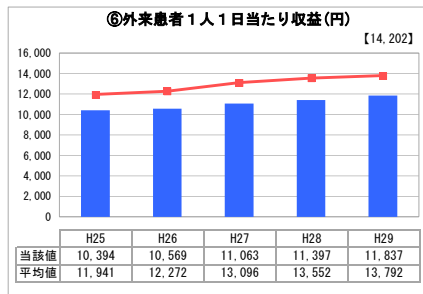
「累積欠損」



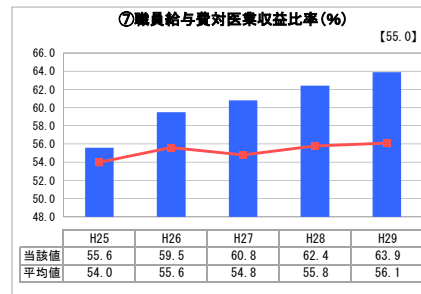
「施設の効率性」



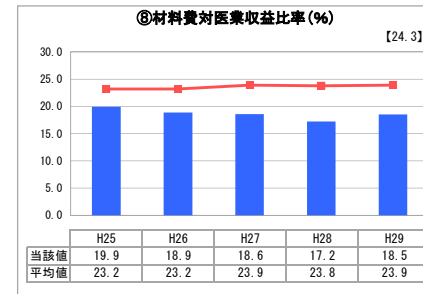
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

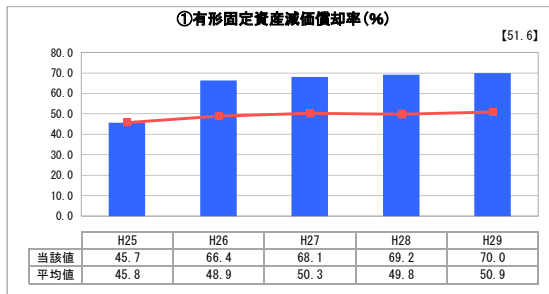


「費用の効率性①」

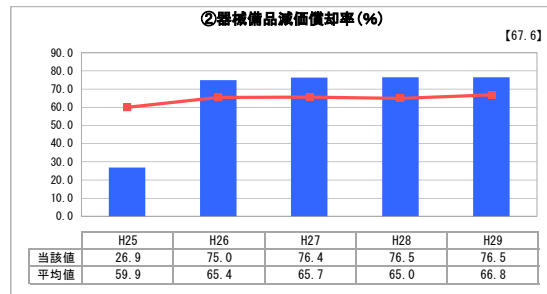


「費用の効率性②」

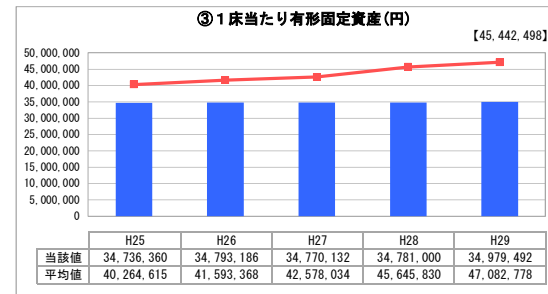
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

市民の病院として、一般医療のほか救急医療、先端医療、結核・感染症医療、災害医療等の特殊・不採算医療を担うとともに、地域の医療機関や保健・介護・福祉施設との連携、災害医療、医師・医療スタッフ・医療系学生の教育研修並びに自治体の保健医療政策を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院は類似病院と比較すると、①経常収支比率、②医業収支比率は高く、③累積欠損比率は低い傾向にあるが、新金沢市立病院経営計画を着実に実行し経営の更なる健全化が求められる。また、⑤入院患者 1人1日あたり収益及び⑥外来患者 1人1日あたり収益が低く、⑦職員給与費対医業収益比率が上昇傾向にあるため、病床数に見合う職員配置による経費が生じているにもかかわらず、それに相応する診療収入が得られていないので経営の効率性が急務の課題である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率や機械備品減価償却率が高いことから、施設、設備及び医療機器の老朽化が進んでいるが、経常収支比率が100%を下回っていることから、経営計画に基づく施設等の更新計画を着実に実行する必要がある。

全体総括

公立病院を取り巻く環境は非常に厳しく、当院においても類似病院と比較すると経営の健全には努めているが、経常収支が2年連続赤字であったことや増加する職員給与費などとも厳しい経営状況となっている。一方、急性期医療、災害医療、結核・感染症などの不採算医療など公立病院として求められる役割・使命は多岐にわたっている。今後は地域に根ざした「地域連携型病院」として当院の役割を明確化した上で、平成30年度に設置した「金沢市立病院あり方検討会」における施設等の老朽化等の諸問題への検討結果及び「新金沢市立病院経営計画」に基づき、より一層の経営改善に努めてまいります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。